

授業に役立つホームページ

第5回 リソース型生活日本語

今回は(社団法人)日本語普及協会が開発した「リソース型生活日本語」(http://www.ajalt.org/resource/) (図1)を紹介します。



図1 「リソース型生活日本語」トップページ

「リソース型生活日本語」は日本に住んでいる外国人に日本語を教える人たちのために作られた教材データベースです。日常生活や仕事、人間関係などを円滑に進めていく上で、必要な日本語表現と文化情報がたくさん盛り込まれています。特に海外の日本語教師にとって、これから日本へ留学する学生を指導する教材としても利用できるホームページです。

「リソース型生活日本語」は大きく以下の6つの場面によって構成されています。1. 生活開始に必要な行動 2. 家庭生活を営むために必要な行動 3. 社会生活を営むために必要な行動 4. 職場生活を営むために必要な行動 5. 人間関係を良好に保つために必要な行動 6. トラブルシューティング。そして、各場面はさらに細かく分かれ、現在、合計679の教材素材ページでできています。(図2)を見てください。各教材素材ページはこのように一つの行動(例: 水をもらう)について、「場面」「状況説明」「言語行動」「語彙」「大切な言葉」「大切な文型」「社会文化情報」の項目に分かれ、それぞれの項目に必要な情報が載っています。例えば、「言語行動」の部分には実際の会話例が示され、日本のレストランという場面、客が店員を呼んで水を頼むという状況がすぐわかるようになっています。会話例の上にはその場面で使う技能が「●」で示され、さらにその横に伝達機能も示されています。「社会文化情報」の部分では日本事情についても要領よく提示されているので、風俗や生活習慣

の違いや、その背景にある日本人の考え方を理解するのに役に立ちます。

さらに、教材素材ページに登場するのはフィリピンから嫁いできたマイさんとその家族、日系ブラジル人ホセさんとその家族、単身者でベトナム出身のゲンバンタンさんなど日本に住んでいる外国人という設定です。そして、彼らが遭遇するさまざまな場面、年齢差や社会的関係の違いによることばの使い分けがされています。敬語を教えるのにも参考になるでしょう。場面によっては音声やイメージ写真も載っています。

3030106	飲食する レストランで食事する 水をもらう
場面	レストラン
状況説明	木村様は 店員を 呼んで、水を 頼みます。
言語行動	●話す ○聞く ○読む ○書く 依頼、指示、命令する ホセ: すみません。 店員: はい、何か。 ホセ: すみません、お水 ください。 店員: はい、かしこまりました。
語彙	木村(きむら)ホセさん 店員(てんいん) 呼(よ)ぶ 水(みづ) 頼(たの)む すみません 何(なに)に ください かしこまりました
大切な言葉	話す 聞く 読む 書く
大切な文型	依頼 指示 命令
社会文化情報	日本のレストランや喫茶店では水は無料です。

図2 「リソース型生活日本語」教材素材ページ

教材素材ページの内容は目次やキーワードによる検索ができますが、そのほかに文型・機能・技能による検索もできます。例えば、「たら」の例文と会話を検索してみよう。《Menu》から「文型検索」をクリックすると、たくさんの文型が出てきます。「たら」を選択して、「検索」ボタンをクリックすると、14の場面で見られる「たら」の例文と会話が出てきます。また、各教材素材ページの右下にある「教材データの印刷」をクリックすると、オンラインでそのまま印刷することもできます。教材データベースはすべて著作権フリーで公開しているので、教材データをコピーして、「Word」の文書に貼り付けて自分の目的に合う教材に加工することもできます。

このデータベースの利用は無料です。ただし、アクセスするにはIDナンバーが必要なため、まず会員登録をしてIDナンバーを取得しましょう。